

医学部保健医療学科看護学専攻

また、本専攻が掲げるアドミッション・ポリシーに基づき、「求める学生像」の実現を図るため、新たに「学校推薦型選抜 A」枠を設置します。この取り組みを通じて、より多様な背景を有する志願者の受け入れを促進し、看護学専攻における教育の質の一層の向上と、地域医療へのさらなる貢献を目指します。

1. アドミッション・ポリシーの変更について

2. 令和9年度入学者選抜について

(1) 入学者選抜方法

変更前	変更後
【一般選抜前期日程】 入学者の選抜は、前期日程で行う。2段階選抜は行わない。 個別学力検査及び小論文・面接を課し、その結果および大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、最終合格者を決定する。	(変更なし)
	➡
	<u>【学校推薦型選抜 A (大学共通テストを課さない)】</u> <u>調査書、推薦書 (本学所定)、志願理由書、その他出願書類及び小論文並びに面接試験の結果を総合して選抜する。</u>
【学校推薦型選抜 B (名古屋市高大接続型含む)】 出願書類及び大学入学共通テストの成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。個別学力検査は課さない。	(変更なし)

(2) 募集人員を次のとおり変更する。

変更前			変更後		
選抜区分	募集人員	入学定員	選抜区分	募集人員	入学定員
学校推薦型選抜 B	55 名	120 名	学校推薦型選抜 A (名古屋校)	10 名 ※ 1	210 名
学校推薦型選抜 B (名古屋市高大接続型)	5 名 ※ 3		学校推薦型選抜 A (蒲郡校)	10 名 ※ 2	
一般選抜 前期日程	60 名		学校推薦型選抜 B (名古屋校)	60 名 ※ 1	
			学校推薦型選抜 B (蒲郡校)	15 名 ※ 2	
			学校推薦型選抜 B (名古屋校) (名古屋市高大接続型)	10 名 ※ 3	
			一般選抜前期日程 (名古屋校)	80 名 ※ 4	
			一般選抜前期日程 (蒲郡校)	25 名 ※ 4	

※ 1 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（名古屋校）で補充する。

※ 2 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（蒲郡校）で補充する。

※ 3 合格者が募集人員に満たなかった場合は、学校推薦型選抜 B（名古屋校）で補充する。

※ 4 志願者は、出願時に各校の希望を選択できる。

3. 学校推薦型選抜 A について

(1) 募集人員

選抜区分	募集人員
学校推薦型選抜 A (名古屋校)	10 名 ※ 1
学校推薦型選抜 A (蒲 郡 校)	10 名 ※ 2

※ 1 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（名古屋校）で補充する。

※ 2 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（蒲郡校）で補充する。

(2) 推薦人員

選抜区分	高等学校の推薦限度人員
学校推薦型選抜 A (名古屋校)	2 名 ※ 5
学校推薦型選抜 A (蒲 郡 校)	2 名 ※ 5

※ 5 各校 2 名を上限として、看護学専攻として合計 4 名を限度とする。

(3) 出願資格

【名古屋校】

高等学校（中等教育学校の後期課程および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ）を令和9年3月に卒業見込みの者で、本学医学部保健医療学科看護学専攻名古屋校への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

①看護職を目指す強い意志があり、学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者

②調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上である者

③合格した場合、必ず本学医学部保健医療学科看護学専攻名古屋校へ入学することを確約する者

【蒲郡校】

高等学校（中等教育学校の後期課程および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ）を令和9年3月に卒業見込みの者で、本学医学部保健医療学科看護学専攻蒲郡校への入学を強く希望し、次の各号のすべてに該当するもの

①看護職を目指す強い意志があり、学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦する者

②調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上である者

③合格した場合、必ず本学医学部保健医療学科看護学専攻蒲郡校へ入学することを確約する者

④蒲郡市をはじめとする三河地方の保健医療機関に貢献する意欲を有する者

（４）出願に必要な書類等

①入学志願票

②志願理由書

本学所定の用紙により志願者が直筆で作成したもの（医学部保健医療学科共通）

③推薦書

④推薦入学確約書

⑤調査書

（５）入学者選抜方法等

①第１段階選抜

入学志願者が募集人員の４倍を超えた場合は、出願書類により、学業成績及び志望学科に対する意欲・適性等をみて、第１段階選抜を実施し、募集人員の４倍の合格者を決定する。

②第２段階選抜

第１段階選抜合格者に対して小論文及び面接試験を実施する。

教科等	評価のポイント
小論文	問題の解釈力、全体的構成力、論理的思考力、文章表現力、個性的な着眼力、創造力などを総合的に評価する。

面 接	医療・保健を含む看護に関する興味、コミュニケーション力、論理的思考力、高校生活の活動状況及び将来の学習意欲などを総合的に評価する。
-----	---

選考基準

調査書、学校長の推薦書、志願理由書、小論文及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。

4. 学校推薦型選抜 B について

(1) 募集人員

選抜区分	募集人員
学校推薦型選抜 B（名古屋校）	60 名 ※ 1
学校推薦型選抜 B（蒲 郡 校）	15 名 ※ 2
学校推薦型選抜 B（名古屋校） （名古屋市高大接続型）	10 名 ※ 3

※ 1 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（名古屋校）で補充する。

※ 2 合格者が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜前期日程（蒲郡校）で補充する。

※ 3 合格者が募集人員に満たなかった場合は、学校推薦型選抜 B（名古屋校）で補充する。

5. 一般選抜（前期日程）について

(1) 募集人員

選抜区分	募集人員
一般選抜前期日程（名古屋校）	80 名 ※ 4
一般選抜前期日程（蒲 郡 校）	25 名 ※ 4

※ 4 志願者は、出願時に各校の希望を選択できる。

(2) 入学者選抜方法等

選抜方法

2 段階選抜は行わない。

志願者は、出願時に希望校の組み合わせを選択することができる。個別学力検査及び小論文・面接を課し、その結果及び大学入学共通テストの成績・調査書を総合的に判定して、総合得点順に希望校に振り分け、最終合格者を決定する。

希望校の組み合わせは以下のとおり。

組み合わせ	第一希望	第二希望
A	名古屋校	蒲郡校
B	蒲郡校	名古屋校
C	名古屋校	なし
D	蒲郡校	なし

以上

1. 新旧対照表

(旧)	(新)
《理念と目的》 教育理念 人間の尊厳を理解し、看護を通じて保健・医療・福祉に貢献できる人材を育成する。 教育目標 ・幅広い教養を育み豊かな人間性を養う。 ・科学的根拠に基づいて判断できる力と社会の変化に対応できる実践力を養う。 ・保健医療サービスを受ける人々や提供する側の諸職者との協力的関係を調整する力を養う。 ・地域的問題から国際的問題まで幅広い視野を持って人々の健康を考える力を養う。	(変更なし)
看護学は、人々の健康を生活の側面より支えることを学ぶ学問です。看護学専攻では、次のような人を求め、入学を歓迎します。	(変更なし)
求める学生像 ・看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人 ・<u>目標に向かって新しいことを意欲的に学ぶ姿勢をもっている人</u> ・人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人 ・人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な文化を尊重し、他者への思いやりをもっている人 ・理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人	求める学生像 ・看護学に興味があり、将来、看護に関する仕事を通して社会に貢献したいと考える人 ・<u>地域における保健・医療・福祉の課題解決に対して意欲的に学ぶ姿勢をもっている人</u> ・人に対する温かい態度と物事を客観的に捉え判断することのできる冷静さを併せ持っている人 ・人とのかかわりをいとわず、様々な背景をもつ多様な<u>価値観や信念</u>、文化を尊重し、他者への思いやりをもって<u>協働しようとする人</u> ・理系および文系科目を幅広く履修し、多様な側面をもつ看護学を修得するための十分な基礎学力を身につけている人

修得しておくべき知識等の内容・水準 ・理系および文系科目の幅広い知識と、看護学を修得するための十分な基礎学力 看護学は、医学や薬学をはじめとする自然科学系の学問や、人との関係や家族や社会との関わり、様々な制度など、人文科学や社会科学に関する内容を専門基礎としての位置づけで学習します。そのため、入学には、高等学校卒業までに修得すべき基礎学力を偏りなく、幅広く身につけておく必要があります。 ・他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力 看護の対象は様々な年代や健康状態にあり、自分とは異なる多様な背景を持つ人です。他者と良好な関係を築くためには、相手の考えや気持ちを理解することに加え、自分の考えを言語化しそれを適切に伝えられることが必要です。 そのため、国語および英語などによる基本的なコミュニケーション能力を身につけておくことが求められます。	(変更なし)
選抜方法 看護学専攻のアドミッション・ポリシーにある《求める学生像》、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した十分な基礎学力については、<u>いずれの選抜方法においても、大学入学共通テストを課すことによって確認します。</u>	選抜方法 看護学専攻のアドミッション・ポリシーにある《求める学生像》、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した十分な基礎学力については、<u>以下の選抜方法によって確認します。</u>
・一般選抜・前期日程 大学入学共通テストに個別学力検査およびグループ面接を加えて、十分な基礎学力を確認するとともに、《求める学生像》にある資質、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を確認します。この確認には、グループ面接の結果を含みます。	・一般選抜・前期日程 <u>大学入学共通テスト及び個別学力検査で、看護学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。</u>

	・ <u>学校推薦型選抜 A</u> <u>志願理由書、高等学校での学業成績、学校長の推薦書、小論文試験等により、看護学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。また面接では、保健・医療・福祉に貢献しようとする志および本専攻のアドミッション・ポリシーに関わる資質を確認します。</u>
・ <u>学校推薦型選抜 B（名古屋市高大接続型含む）</u> 大学入学共通テストに志願理由書および学校長からの推薦等の出願書類等を加えて、十分な基礎学力を確認するとともに、《求める学生像》にある資質、《修得しておくべき知識等の内容・水準》に示した他者と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を確認します。	・ <u>学校推薦型選抜 B（名古屋市高大接続型含む）</u> <u>大学入学共通テストに志願理由書および学校長からの推薦等の出願書類等を加えて、看護学や保健・医療・福祉の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力等を確認します。</u>

2. 適用時期

令和 9 年度入試より適用